

ソムフィ

WS-IF RTS 426 コントローラ

取扱説明書

ISM-0012

ソムフィ株式会社

本社 : 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-23-3 新横浜東武 AK ビル  
TEL: 045-475-0958 FAX: 045-475-0922

ロジスティック : 〒221-0864 神奈川県横浜市神奈川区菅田町 1772-1  
TEL: 045-473-9397 FAX: 045-473-9507

## 6 安全機能

---

### 6.1 ヒューズ

過電流による事故を防止するため、コントローラ内部にヒューズが取付けられています。ヒューズの定格は 250V 5A ( $\phi=5, L=20$ ) です。

### 6.2 風力検知の最優先

設定値以上の風力を検知すると他の全ての操作（操作スイッチ、陽光検知）よりも優先してロールスクリーン、オーニング等を巻上げ、風による装置の破損を避けるように設計されています。

## 7 製品の取扱い

---

### 7.1 本製品の取付け方法

#### 7.1.1 コントローラの取付け方法



警告  
コントローラの次製品への取付け、電源、オペレータのケーブルの接続およびヒューズの交換等の作業を行う時は必ず電源を切ってから行ってください。



注意  
本製品は無線機器ですので取付け位置によっては電波が届かない可能性があります。取付け位置においてオペレータが動作する事を確認の上、コントローラの取付けを行ってください。

※ 内部に無線送信機を内蔵しています。金属ケースに入れるなど電波が到達しづらい状況でのご使用はおやめください。

上ぶたをとりはずし、M4 のネジ、プラグなどを使用して壁などに取付けてください。コントローラにはネジ、プラグは付属しませんので別途ご用意ください。取付け用ネジ孔は $\phi 4.5\text{mm}$ （4ヶ所）です。

#### 7.1.2 Eolis センサ、Soliris センサの取付け方法

カバーを取り外し、同梱のネジ、プラグを使用してオーニングまたはスクリーンなどの近傍で陽光、風の当たりやすい場所に、風力センサの回転軸が地面と水平になるように設置してください。

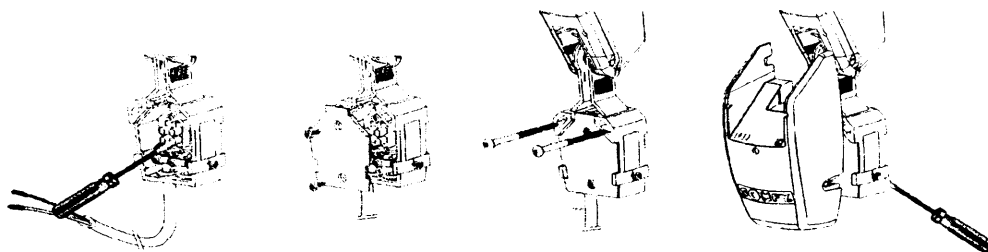
壁などへの取付けネジ部およびリード線引込み孔部は雨水が浸入しないようにコーキング材を塗布してください。



注意

- ①コントローラおよびセンサの中にケーブルを伝わって水が浸入しないようにケーブルをU字にするなど、注意を払って設置してください。
- ②コントローラ1台に複数のセンサを取付けないでください。

#### <Eolis センサ、Soliris センサ取付け手順>



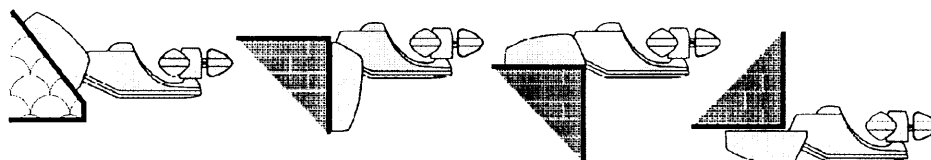
1.端子台へのケーブル接続

2.カバーの取付け

3.壁への取付け

4.正面ボックスの取付け

#### <Eolis センサ、Soliris センサ取付け例>



### 7.1.3 コントローラのヒューズ交換方法



警告

- ①ヒューズの交換作業を行う時は、必ず電源を切ってから行ってください。
- ②ヒューズが切れた場合は、必ずその原因を取除いてから新しいヒューズ（現状と同一仕様のもの）と交換してください。

- 1) コントローラの上ぶたを取外します。
- 2) ヒューズに被せてあるヒューズカバーを取外します。
- 3) ドライバーでヒューズをヒューズホルダーから取外します。
- 4) 新しいヒューズをヒューズホルダーに取付けます。  
\* ヒューズはヒューズホルダーにしっかりと取付けてください。
- 5) ヒューズカバーを元のように被せます。
- 6) 機器が正常に動作することを確認してください。

## 7.2 配線方法



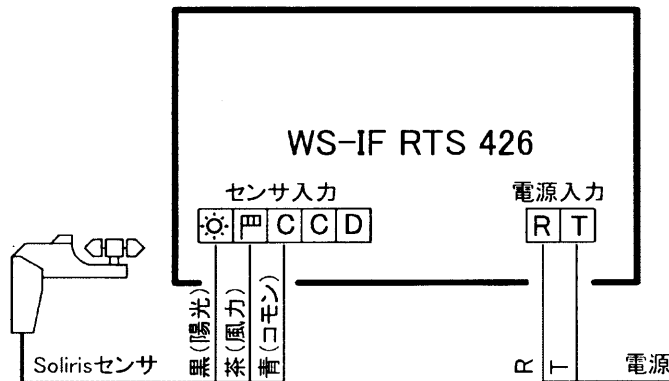
**警告**  
 コントローラの次製品への取付け、電源、オペレータのケーブルの接続およびヒューズの交換などの作業を行う時は、必ず電源を切ってから行ってください。



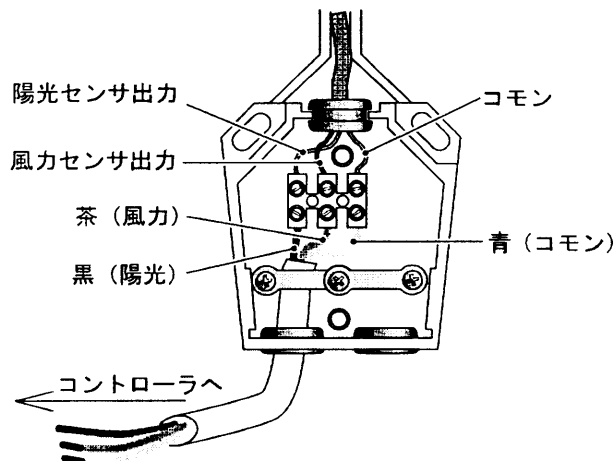
- 注意**
- ①コントローラを屋外に設置する場合はケーブル引込み孔に必ずケーブルグランドを使用し、雨水などがコントローラ内部に浸入しないようにしてください。
  - ②コントローラ1台に対して複数のセンサを接続しないで下さい。

### 7.2.1 コントローラと電源、センサの接続

コントローラの結線



### Eolis センサ、Soliris センサ 端子台の結線



- \* Eolis センサ (風力センサ) ではセンサ内部の端子台は 2 端子、付属のケーブルも 2 芯になります。

## 7.2.2 配線時の注意

コントローラおよび Eolis センサまたは Soliris センサの端子台に配線を行う際、以下の点に留意してください。

### ・コントローラ

#### 1. 使用可能な電線の導体太さ

電源・出力用     AWG14, 2.5mm<sup>2</sup> (最大)

センサ用             AWG12, 4.0mm<sup>2</sup> (最大)

#### 2. むき線長         7mm

#### 3. 使用ドライバ     マイナスドライバ刃先巾 3mm

#### 4. 適性締付けトルク     0.5~0.6Nm

### ・Eolis センサ、Soliris センサ

#### 1. 使用可能な電線の導体太さ     AWG14, 2.5mm<sup>2</sup>

#### 2. むき線長         6mm

#### 3. 使用ドライバ     マイナスドライバ刃先巾 2.5mm

#### 4. 適性締付けトルク     0.4~0.45Nm

### 使用可能ケーブルグランド (例)

タカチ電機工業製 KG 型ケーブルグランド	電源用	KG-9G
	センサ用	KG-7G
LAPPKABEL 製 スキントップ ST (株式会社ケーメックス扱い)	電源用	5301 5010 (ST9) シルバークレー
		5301 5210 (ST9) ブラック
		5301 8010 (ST9) ライトグレー
	センサ用	5301 5000 (ST7) シルバークレー
		5301 5200 (ST7) ブラック
		5301 8000 (ST7) ライトグレー

\* 詳しい仕様は取扱いメーカーにお問合せください。

## 7.2.3 コントローラのオペレータへの登録 (センサーの情報をモーターに伝える為の設定) (モーター)



注意

オペレータの上限・下限の設定は本コントローラの登録前に Telis RTS 426 送信機などを使用して完了してください。

本コントローラによりオペレータを動作させるためにはコントローラをオペレータに対して登録する必要があります。

登録作業は Telis RTS 426 と同様に行うことができます。

- 1) 現在オペレータに登録されている送信機 (Telis RTS 426 など) のプログラムボタンを約 2 秒押します。

この時、オーニングまたはロールスクリーンなどが小さく上下に動作し、

## コントローラボタンの⑥のボタン

登録の準備ができたことを知らせます。

- 2) 本コントローラのプログラムボタンを約2秒押します。  
同様に小さく上下に動作し、登録が完了したことを知らせます。

### 7.2.4 コントローラのオペレータからの削除 (初期設定には不要)

- 1) オペレータに登録されていて、登録を残す送信機 (Telis RTS 426 など) のプログラムボタンを約2秒押します。  
この時、オーニングまたはロールスクリーンなどが小さく上下に動作し、登録の準備ができたことを知らせます。
- 2) 本コントローラのプログラムボタンを約2秒押します。  
同様に小さく上下に動作し、削除が完了したことを知らせます

## 7.3 風力、陽光の検知設定方法

設定作業前にセンサ用端子台のデモ端子とコモンを接続し、デモモードに切換えてください。また、設定完了後は接続を外し、通常モードに戻してください。

(デモモードに関しては「5.4 デモモード」をご参照ください)

### 7.3.1 風力検知感度の設定



注意

風力検知感度の設定は、オーニング、スクリーンなどの強度、素材、取付け角などを十分に考慮して行ってください。

風力検知を行いたい強さの風が風力センサに当たった状態でコントローラの風力検知 LED ランプ (赤色) が点灯するように DIP スイッチを切換えてください。

DIP スイッチと風力設定値の関係は以下の通りです。(値はおおよその目安です)

検知レベル	スイッチ 1	スイッチ 2	スイッチ 3	風速 (m/秒)
5	ON	ON	ON	16
4	OFF	OFF	ON	14
3	OFF	ON	OFF	12
2	ON	OFF	OFF	10
1	OFF	OFF	OFF	6

### 7.3.2 陽光検知感度の設定

陽光検知を行いたい強さの陽光が陽光センサに当たった状態でコントローラの陽光検知 LED ランプ（黄色）が点灯するように DIP スイッチを切替えてください。

DIP スイッチと風力設定値の関係は以下の通りです。（値はおおよその目安です）

検知レベル	スイッチ 1	スイッチ 2	スイッチ 3	照度 (ルクス)
5	ON	ON	ON	55,000
4	OFF	OFF	ON	45,000
3	OFF	ON	OFF	35,000
2	ON	OFF	OFF	25,000
1	OFF	OFF	OFF	15,000

### 7.4 施工後の確認事項

現象		原因	処置	扱 者
操作スイッチを押してもオペレータが動作しない	1	主電源が投入されていない	主電源を投入する	施工者
	2	ヒューズが切れている	ヒューズ溶断の原因を取除いた上でヒューズを新しいものと交換する	施工者
	3	コントローラとオペレータの関連付けがされていない	コントローラの登録作業を行う	施工者
	4	コントローラの取付け位置が悪いため電波が届かない	取付け位置を変更する	施工者
風が吹いてもコントローラの風力検知 LED ランプ（赤色）が点灯せずオペレータが動作しない	1	センサの配線が間違っている	配線を再確認する	施工者
	2	風力検知感度の設定が適切でない	検知感度を適切に設定する	施工者
	3	センサの取付け位置が悪く、センサに風が当たらない	センサの取付け位置を変更する	施工者
日が射してもコントローラの陽光検知 LED ランプ（黄色）が点灯せず、オペレータが動作しない	1	センサの配線が間違っている	配線を再確認する	施工者
	2	陽光検知感度の設定が適切でない	検知感度を適切に設定する	施工者
	3	センサの取付け位置が悪く、センサに日が当たらない	センサの取付け位置を変更する	施工者